

図1 モデル企業の概要

【概要】

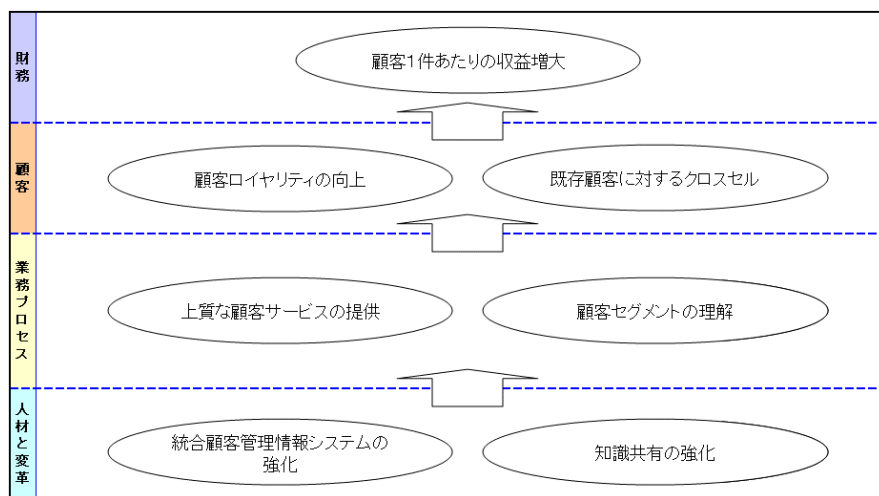
- ・一般的な組み立て型製造業である。
- ・「インストールベース利益モデル」である。
 (※)「インストールベース利益モデル」の例: かみそり、コピー機、浄水器とフィルター、プリンタとインク

【背景】

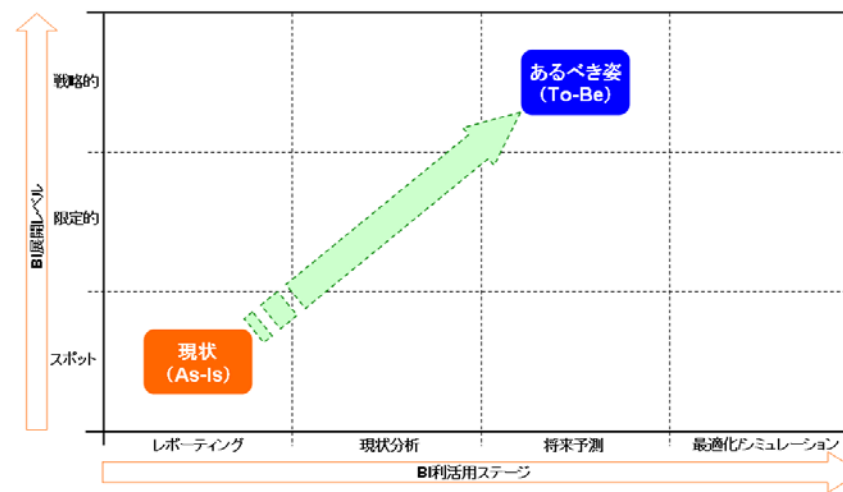
- ・国内市場の成熟により、新規製品売上が芳しくない。
- ・製品そのものよりも、消耗品、周辺オプション製品の方が利益率は高い。
- ・製品は営業部、消耗品・周辺オプション製品はサービス部の管轄となっている。

【経営上の課題】

- ・国内市場が広がらない中で、どうやって(国内で)売上を確保していくか。



モデル企業の戦略マップ



モデル企業のBI活用ポジショングリッド

図4 モデル企業のロードマップ

No	施策テーマ	概要説明	実施項目	優先度	関係する部署・役職の役割					2012年				2013年				2014年				
					営業部	ITシステム部	情報システム部門	経営企画部	社外	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
1	データ利活用実施環境の構築	全社的なデータ利活用を実施するためのデータ環境(BI環境)を構築する。将来像としては、データ利活用要件(何を見るか?)、データの分析プロセス(何をやるか?)、ソースデータ管理(どこから見るか?)などを標準化して管理する。	データ利活用状況の現状整理	高	A	A	R		C													
			データ利活用基本方針策定	高			R	A	C													
			...																			
2	データマネジメント環境の構築	全社的なデータ利活用を実施する際に、顧客情報・製品情報など各種マスタの整合性を取る必要がある。そのマスタ管理を効率的、効果的に行うための環境(体制、プロセス、ツール、など)を整備、構築する。	データマネジメント現状整理	高	A	A	R	A	C													
			データマネジメント基本方針策定	高			R	A	C													
			...																			
3	データ利活用推進組織の整備と運用	全社的なデータ利活用を促進するための「推進組織」を設置し、各部門に跨ったデータ利活用を加速する。	BICCのミッション・役割の定義	中			R		C													
			BICCの組織構成の策定	中			R		C													
			...																			
...																			

図5 モデル企業の実行計画(本年度)

No	実施項目	WBS	担当者	期間(予定)		実績(予定)		2012年									2013年				
				開始年月	終了年月	開始年月	終了年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	データ利活用状況の 現状整理	10010	現状整理のスコープ決定	担当者A	2012年4月	2012年5月			■	■											
		10020	現状整理のマイルストーン決定	担当者B	2012年6月	2012年7月				■	■										
		10030	現状整理のためのチェックリスト策 定	担当者C	2012年8月	2012年8月						■									
							■							
2	データ利活用 基本方針策定															■	■	■			
3	...																	■	■	■	